

ロンドン、2021年1月14日

中国の日照鋼鉄が5基目の Arvedi ESP ラインで最初の コイルを生産

- 220万トンの高品質な極薄熱延鋼板を生産
- Arvedi ESP プラントが生産能力を向上
- 超軟鋼の省エネルギー圧延に最適化
- 直接使用される市場向け冷間圧延材に相当する最高基準を満たす新機能を実装

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）が中国の鉄鋼メーカーである日照鋼鉄社（以下、日照鋼鉄）に納入した5基目の Arvedi ESP（Endless Strip Production）プラントが、最初のコイルを生産しました。この鋳造圧延プラントは最小板厚 0.6 ミリメートル、最大板幅 1,300 ミリメートルの高品質な極薄熱延鋼板を 220 万トン生産します。製品生産は、炭素鋼から HSLA（高強度低合金鋼）まで対応しています。当初の計画値以上に生産能力を向上させるため、鋳造セグメントの数を増やして鋳造機の長さを伸ばすよう Arvedi ESP プラントを再設計しました。光ファイバー温度測定を備えた新しいモールドエキスパート（Mold Expert）は、よりきめ細かい測定を実現し、プロセス制御を改善します。これらの新機能は付帯的処理段階を要せずに冷延材に相当する最高基準を満たすため、直接的に使用される板材の生産時のエネルギー消費および CO2 排出量を最小限に抑えます。仕上げ圧延機の上流に設置された非常に効率性の高い横断磁束誘導加熱システムは三菱重工（MHI）のグループ企業である ABP インダクション社（ABP Induction）製です。

日照鋼鉄社（日照鋼鉄）は日照鋼鉄ホールディンググループの一員であり、山東省南部の日照港から 30 キロメートルに位置しています。粗鋼生産能力は約 1,500 万トン、製品ラインアップは熱延コイル、線材、小断面の I 形鋼等で、主な顧客は中国企業です。新しい Arvedi ESP プラントにより、日照鋼鉄は高品質な薄型鋼板製品と冷延鋼板の代替となる製品の生産能力を拡大します。

当社は、Arvedi ESP プラントのエンジニアリングを担当し、機械設備、メディアシステム、技術パッケージ、自動化技術を供給しました。鑄造圧延ラインは、一貫して標準化された基本（レベル1）オートメーションとプロセス（レベル2）オートメーションにより制御され、鑄造工程と圧延工程の高度な連携が確保されます。

Arvedi ESP は、鑄造機と圧延機が連結した連続生産プロセスで、溶鋼から熱延鋼板が直接生産されます。鑄造工程と圧延工程が分離した従来のラインよりもエネルギー消費と関連したコストが最大 45%まで削減出来、CO2 排出量も大幅に低減されます。さらに、日照鋼鉄の 5 基目の Arvedi ESP プラントは全長わずか 162 メートルと、従来の鑄造ラインや圧延ラインに比べて非常にコンパクトです。



プライメタルズテクノロジーズによって中国の日照鋼鉄に納入された 5 基目の Arvedi ESP プラント

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約7,000人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : <https://www.primetals.com/jp>